

1953年4月18日

研究通信

村落社会研究会紙

No.1

本部

東京教育大学社会学研究室
東京都文京区大塚塩町二四

通信編輯部

東京大学文学部社会学研究室

村落社会研究会の 発足にあたり

有賀 喜平 内

昨秋十一月以来三回の準備会合せを重ねて、我々の村落社会研究会が成立し、今その研究活動を初めようとするに至ったことを非常によろしく心ります。すでに設立趣意書を申上げましたように、本会の目的は同学の人々が、或は他々別々、或は日々の研究をよりよくの研究をとおける環境をもつて組織的に詰り合せて、必要な問題にたけん心を尽なさまし、研究上の懸念の方は、べき正確にして精密なる研究方法と共に検討して全体

として研究の成果を高めよう圖にあらるのであります。

この目的によつて設立し已ばかりの日にすこに全員的で満足感ある者の入会があり、百名近くにのぼつたことは、その希望がけん強るものであるかと語つて余りがあると思ひます。

この会を重視する者は大きくわけて二つあると思ひます。一つは同志の結合を強めるための基本的な考え方と方法とを持つことであり、吾等六つは我々の研究成果を現在の危機において、日本人の生き方の上に大きく生かしたりといふ熱望であります。

カのことは設立の趣旨にしつつて考えられる事であつて研究の成果を高めるためには専門知識の分析や研究方法の精細な検討が重要なのは言う迄もありませんが、そのためには会員がかかる人間的な詰りつきをもつて、相互に誠実ある批判が行われなければならぬ事があつたと思ひます。全員的な

ひうがりですか、運営や至下や秀えを生ずるかも知れませんが、お互に寛容を心持を待つて、他の批判を受け入れて受けた、何ん々々の立場の相違はあつての結びつきを深めるためには一年一回の討論会や年報の出版の外では足りないもので、各会における研究会の開催の外に、会員の平素の通じ連絡を万難を排してもやつて行きたりと見りますから、この度にふかく留意して假想したりと思つております。

カニのことは現在の世界の危機において、日本人が日本人として生きるにはどうすべきかと云う点せんの問題と関連してります。本会の特徴は科学的研究活動から離脱することは出来まいのであります。しかし、その成果が真義であるなら、当然研究企画は種々あると見て、又村落社会を対象とするとして、現在の危機において

本人が世界文化の發展に貢献する事の意義を既に
ある分野を知る事は皆々の學識を大きめに仕舞
と見て顶くと思うのであります。現在の
日本への行動を分析することは決して矮小な
反対すべきものでは少しまじめのですが、
世界の将来を規定するのであらう世界的
な思想や世界政商人の動向などは他々の
民族や「法の個性を尊重する」の通りであります
とすれば、世界的一元化が成立するには
個々の民族や人民における前線が与えられ
なければならない事を当然であると思ふ
のであります。「彼らは弱小日本が世
界の中に大きく生きるための度量として
謀すれる結果でなければなりません」
村落社会研究会の成立に際し、私自身の
感想を述べておきたいので、
次して本会を代表したのであ
りませんが、研究会の成長と共に
がら伸びりつゝ、会員の皆様に御
発表上升します。

発足に期待する

鳥崎
愁

いたくしは村落社会学には、内外漢の学者であるが、もつかある農村調査に因縁して、いるので欣然入念した。

西宮次山のせなくては成つぬ
多くいふれどもあがゆるようになれば
二本が我々のやめである。
（編集子）

奈良御子ノ御子もあまりかんじられぬ
さりゆけ、この会は、櫻井村宋、牧漁業
足利は、が者方の人のを参加し、するといえ

221 期作ノ内

(高崎市大)

総合的村落調査を

甲 田 和 衛

村落社会の研究に調査が唯一のアプローチではありがた之は「农业改革の村落社会に及ぼした変化」さよう」という本年度の課題をかならずしめ、調査が企てられたり取り実戦立った形でこの課題について語ることが出来なりのは申すまでもない、と二つて、その調査も、一、二の既定の村落の詳細に調査され

たものと、全日本農業六千の村落を系統的に抽出して最初に把握しまとめた場合とでは、かなりたその結果の載じる異なつたものとなる。一つの多くが許して右のようないき方観察する。



は、その方法の一つ農業の在り様子の調査として取扱い文書の質問紙等はもつかめらず、然しこれが日本においては、インド中同、アメリカなどにはして容易に企図しうる故に、まさにその故に全国的規模でたとえば、対事や資金のよくな採合的村落調査が企てられしならば、其の小うことがある。その際、諸科学共同調査の実をあげうるかどうか、その結口は近所の開心を社会学に寄せてくる諸科学の立場ではなく、その時社会学の與えて、他の諸科学についての故養にかかるて、るよう思ひ承てならむ。(一九五三年二月二八日国立世論調査所)

- (A) 研究に専念する共同討論会を開く
(B) 毎年の討論大会の際翌年度のものを決定し、各自で調査研究又は意見共同調査を行い、次年度の共同討論大会における発表し論試する。
(C) 共同討論大会以外に各地に於いて調査研究会を開催し、各地会員の連絡を計り、研究活動をいかんにする。
出版
本会は株式会社として年報を出版する。これには主として討論会の結果を収集するが、その他に内外の研究業績の紹介並判断等をものせり、又研究通信を發行して研究の推進に資する。

3. 共同調査
会員相互の共同調査を行ふと共に海外の学者との連絡を密にして、併せて共同調査を企てたり。

□ 会員及会務

1. 会員は村落社会の研究について、各分野の問題を廣くし、その研究の進展を期する。

○ 会員及会務

1. 会員は村落社会の研究に専念をもち、共同研究活動を希望する諸科学分野の研究者をひろめる。
2. 会員は専門研究会員の会員登録を企てたり。

△ 会員及会務

3. 本会に本部を置く。

■ 会員及会務

4. 毎年共同の宿題を定め、年一回宿題

□ 会員及会務

5. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

6. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

7. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

8. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

9. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

10. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

11. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

12. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

13. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

14. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

15. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

16. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

17. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

18. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

19. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

20. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

21. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

22. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

23. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

24. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

25. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

26. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

27. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

28. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

29. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

30. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

31. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

32. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

33. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

34. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

35. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

36. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

37. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

38. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

39. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

40. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

41. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

42. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

43. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

44. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

45. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

46. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

47. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

48. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

49. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

50. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

51. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

52. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

53. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

54. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

55. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

56. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

57. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

58. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

59. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

60. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

61. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

62. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

63. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

64. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

65. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

66. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

67. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

68. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

69. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

70. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

71. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

72. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

73. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

74. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

75. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

76. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

77. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

78. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

79. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

80. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

81. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

82. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

83. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

84. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

85. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

86. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

87. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

88. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

89. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

90. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

91. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

92. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

93. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

94. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

95. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

96. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

97. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

98. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

99. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

100. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

101. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

102. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

103. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

104. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

105. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

106. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

107. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

108. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

109. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

110. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

111. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

112. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

113. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

114. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

115. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

116. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

117. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

118. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

119. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

120. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

121. 本会は、本部を置く。

□ 会員及会務

122. 本会は、本部を置く。

△ 会員及会務

123. 本会は、本部を置く。

■ 会員及会務

- <p

4. 各地方毎に支部を多く

附則



共同討論大会は、農村上、当分日本農業会議の事務と統合するが、即ち統合上、走り立つ京都府立農業研究会本部、青大等社会研究室にあくまでも本部は、金銭的財政である大手研究室の輸送を負担する。本部に本部事務委員若干名をおく。以下上

今後の見とおし
○前回の通信発送先
67名
うち会員払込者57名

○二つの開拓通信、N/101
発送先 101名

○この方式は1月より更に
支出去へつて一回一人約12円かかります。おみみかげでなければ
私ども以外への発送はへてしまひます。勿論、公勧誘の發送はするつもりです。
○本部にあつた東联合会員は從事者に出席者並負担し、端数の残高は寄附とする方法をとります。

(但し3000円は寄附金)

(昭和28年2月26日現在)		計
初回会費	3000円	
当月会費	5880	
口座入附	5000	
口座入附	120	
13920円		
品目	1535円	
費用予算	1025	
信託金	160	
貯金	715	
	3435円	

第三回本部会合
日時 二月二一日(日)
場所 康大内 學士会館
報告

報告及び

1. 各の運営のため、各種の委員会が
実務の進捗するよう在京公募を始め、
研究連携方面を通じて統合するためよりの
意見を求める全会員よりの事を述べて
夫の運営に当る。

2. 本部事務委員、有賀、中野、森田
(以上三名、康大内)

3. 開拓連絡委員、本部、各地区委員会、各
地と連絡して「研究通信」を編集発送する。
4. 課題の決定については、前回まとまり
かけた「農地改革の村落構造に及ぼした
えいきよう」について反対意見を別なり
ので原案をとつたが「村落構造」に限定
せず村落社会と訂正
農地改革の村落社会に及ぼしたえいき
よこと決定した。

細目の開拓課題は課題委員会が担当する。
その際次の三点に留意
よこと決定した。

(A) 三四五年統して大きめ見方で問題を
試すもうち數年後、即ち日本の日本村落の変化を
する点
(B) 現在までの成績、諸概念規定をテーマ
の調査研究の中で再検討する点

★ 指導口座名簿及び通報
指導口座の会員手帳はようやく完了し、
今後は旧復興省河野研究会でなく移落
社会研究会となりましたので、専用をつく

口座番号

東京帝大参考ハ六

(C) 改革当時のみでなく現在に及ぶ漁村に
もそのえりきよはあるのではなくある矣

5 課題委員会

軍に課題の決定のまではなく、文献や同
題の所在を分析討議し、研究通信を通じて
今般の報告における討論会

この任務のため毎年の課題によりてさせ
つか委員会を設け、今年は次名とす
らが

員をえ

らが

<p

じ物何でセラム 村落構造が近代産業と接觸してコンシュー＝ティの変遷をとげ

つあるとリラーカです 農地改革と二つ位にしては如何

(大山彦一氏)

（会場から）

方法、四全口的にテーマを担当する方法

（中日両国農村の比較研究）にフリては、小生は南日本南九州島

南西諸島を含む）地区を担当する用意をもつてります

（テーマ例へば小生の場合はマキ前に全口的に協力し他の開拓テーマにフリて比較検討したり）

（従来私の関心事たりし故友人で参加します）

（井森陸平氏）「……本年度の宿題としては村落の区切りなどどうかと考えます

（内利美氏）「東北地方の有志の会合で

（前脚検査）のあるひは親方子方慣行の本質にフリての内検査とリフたるモアリ

ましたが最初の課題としてはどうリラ

異論もありましたか

（後藤和夫氏）「天会が年報により社会学の立場からする村落研究の問題意識と方

法論についての問題を対応せりとあります」

（同族結合と二类型を全般的に捉えた村落の歴史的展開の某つかのケースの中

で検証し、更に二类型そのものを再検討

として、日本資本主義と村落の問題

と。

（2）日本資本主義と

村落の問題

時期以降の

至済的條件

の変化とロ

家的权力残

権の変動の

中で社会学

的に捉えら

れた村落が

如何に規定され

（3）

これに対応したかの問題（現在の資本主

義の段階における政治的至済的條件り下

での村落とその変化のかくも問題

（4）既報の決定に対して竹内より最初の課

題として無題だと見えます。昨夕は焦

矣の本やけろまちらりがな（でもなり）と考

えられますが）（リラ荷賣定がありまし

たが）（これにフリては別擇「連絡板」を參

照下さり。

（宮多重吉氏）「共同討議の題目は問題に

のぼった農地改革の大きさにフリて

でよろしいかと見ります。しかし大分入

きい問題ですが、主要な問題をいくつか

に整理したり大々にまだ基本的な問題

分析表を明らかにしてそれを共同討議

に打出してやくとリラような整理をする

必要があると思ふ。このために單に大会

開催事務でなく研究討議の実質的な準備

運営をやつてゆく人が必要

私案とし

こなるべく早く本部となる人で大会委員

会を定め（名前は未定委員でも可）共同討議の

実質的な準備事務を及び當日の運営を担

当。その年々の討議題目をキーメモによ

つて専攻者に相談してもらう二ニにして

よ」

（看板長庄司氏）「大会委員の名稱では大

会開催事務に当る仮名とまさらいしき

う（宿題奉公）でも可（課題奉公）でもよ

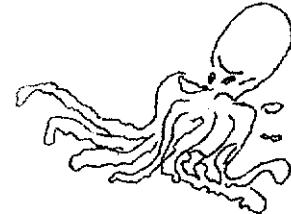
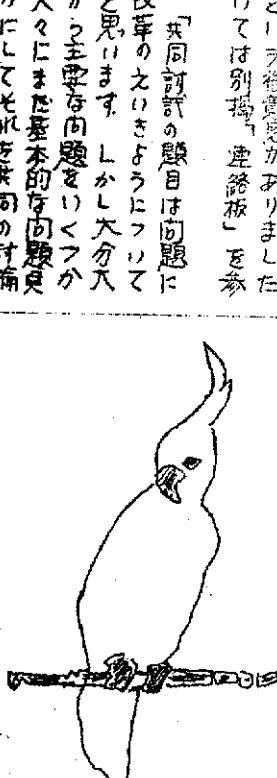
りと矣」

（2）この外名稱より諸種の意見がありました

が、前面の都合でやむなく則省略いたし

ます。

章 文責、本部 委員 章



(日現在役者納入番
線は二月二十六)



名簿

佐藤輝美

(七陸) 井森陸平 阿部政太郎 森正夫

(東京) 武田良三 福武直 野川九重雄
服部治朗 小池喜吉 市村友雄

(關西) 山本健 西田嘉泰 大橋重一 金原信博

(山陽) 有間左近三郎 吉多照清 塙木哲人

寺川未祐郎 金部益利 碓井隆次 河井常三郎

(箱山寅太郎 北川隆吉 森司清美

谷口澄夫 上田一男 八木佐吉

(錦谷赳天 角玄 中村治兵卫

山陽

内山政照 森住五郎 收野 弘

山陰

木原健太郎 甲田和衛 松村平一

内藤亮輔 安藤内蔵 岩崎景徳

篠原武天 遠西武士 青井和夫

中村正夫 原田敏雄 大森喜一 鹿野

米林富男 小山隆 中島龍太郎

隆一 佐藤筋太 森田誠 田原庄

外木與太 西川喜介 小川徹

二宮哲輔 西山美穂子 久保田義

島崎穂 横田勝徳 追上広正

大山彦一 大山学 萩原義之

矢木明夫 佐木徹郎 白井尚

寺川喜一 佐藤義雄 大森喜一 鹿野

(東九) 田原安和 田島田裕 菅野正

秋葉隆 川越亨二 木下精一

後藤和夫 神田利 高野秋男

久保田義雄 佐藤義雄 大森喜一 鹿野